

第6回 上場制度整備懇談会ディスクロージャー部会 議事要旨

1. 開催日時 平成22年3月9日(火) 11時00分~12時10分

2. 開催場所 東京証券取引所本館 15階特別会議室

3. 議事次第

- ・ 「上場制度整備懇談会ディスクロージャー部会報告」(案)について

4. 議事要旨

事務局から第5回会合での議論を踏まえた「上場制度整備懇談会ディスクロージャー部会報告」(案)の修正内容について説明が行われた後、討議を行った。

委員の主な発言の要旨は概ね以下のとおり。

- ・ 本報告は、四半期決算に係る適時開示について、これまでと異なる枠組みへと転換を図ることを東証に対して提言するものであるが、今後も、ディスクロージャー制度全体について、関係者の意見や、実務の状況を踏まえた見直しを継続して行っていくことを期待したい。
- ・ 本報告を受けた具体的な見直しについては、パブリック・コメントも含めて、なるべく多くの方に意見を求めるように工夫していただきたい。
- ・ 本報告は企業にとっては非常にインパクトがあるものであり、説明会や対話を通じて、新しい四半期決算短信はより柔軟になるという趣旨を、実際に決算資料を作成している現場レベルの担当者まで浸透するようできる限り対応を図っていただきたい。
- ・ IFRSの強制適用を見据えた際に東証の果たす役割はますます大きいと考えられる。IFRSの適用に関する東証としての今後の戦略やメッセージについても今後検討を進めることが望ましいのではないかと。
- ・ 近時、ディスクロージャーを義務から戦略として捉える「ディスクロージャー競争力」という考え方が注目されてきている。企業が、制度・義務に対する対応ではなく、戦略として自主的にディスクロージャーを行うことの重要性が高まる環境の中で、本報告の意義は高いと考えられる。
- ・ 今後も、ディスクロージャーのあり方について、このような形での検討の機会を設けることが望ましい。

概ね以上のとおり審議が行われた後、報告書の修文については、座長一任とすることについて委員より了承され、審議を終了した。

以上

(なお、議事要旨については、東証上場部文責による。)

- 問合せ先 -

株式会社東京証券取引所 上場部企画担当

TEL : 03 - 3666 - 0141 (大代表)